

2-52

庶発第483号 昭和28年9月30日

日本国有鉄道総裁・運輸大臣 殿

日本学術会議会長 亀山直人

常盤線の電化と、その柿岡地磁気観測所に及ぼす障害の除去について(申入)

日本国有鉄道
運輸省 においては、常盤線の電化計画に際し、柿岡地磁気観測所の学術上及び応用上の重要性を認識され、該観測所に対する電化に伴う障害に対し万全の策を講じ、その機能を喪失せしめないよう充分なる配慮を願いたく、ここに本会議第65回運営審議会の議を経て希望いたします。

(説明)

茨城県柿岡町にある中央気象台附属柿岡地磁気観測所は、1913年に観測を開始し、以来日本の標準地磁気観測所として国際的にもその重要性を認められているものであります。同観測所はその位置が常盤線から直距離で約8軒を隔てるだけであり常盤線の電化に伴う観測上の諸障害は当然予想されるところであります。

ついては、同観測所の標準観測としての意義と機能に遺憾なき様慎重を期せられたいと存ずる次第であります。

なお、地磁気観測は火山地帯あるいは特種地質構造の場所は避ける必要がありますので、わが国のような土地狭少のところでは他に適地を求めるに非常に困難な条件の下にあることも併せて考慮願いたく申し添えます。

2-53

庶発第557号 昭和28年11月2日

内閣総理大臣 吉田 茂 殿

日本学術会議会長 亀山直人

インド太平洋地域の国際海洋学研究所設置計画について(勧告)

ユネスコの取り上げようとしているインド太平洋地域の国際海洋学研究所設置計画は、単に学術上極めて重要な意味をもつばかりでなく、人類の福祉に寄与するところが大きいと予想されるので、日本もこれに積極的に協力する必要があると信ずる。

よつて、政府においても、この計画の実現を可能ならしめるようにあらかじめ配慮されたく、本会議第15回総会の議により勧告する。

2-54

庶発第559号 昭和28年11月2日

内閣総理大臣 吉田 茂 殿

日本学術会議会長 亀山直人

外国から留学生を招くための奨学基金の設定について(勧告)

諸外国においては、種々の奨学金制度を設けて、他の国から留学生を招いており、日本からも、この制度によつて、相当数の留学生が外国に勉学に渡っている。これに反して日本には海外からの留学生を招くための基金のないことはまことに遺憾である。